



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 中外鉱業株式会社

上場取引所 東

コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芳賀 一利

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長 (氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	19,373	45.1	73	—	48	—	41	—
2020年3月期第2四半期	13,355	△6.7	△615	—	△654	—	△229	—

(注)包括利益 2021年3月期第2四半期 41百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △675百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	0.14	—
2020年3月期第2四半期	△0.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	8,114	6,443	79.3	22.21
2020年3月期	7,756	6,402	82.4	22.07

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 6,434百万円 2020年3月期 6,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,600	14.3	△60	—	△100	—	△120	—	△0.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	289,747,982 株	2020年3月期	289,747,982 株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	101,498 株	2020年3月期	100,360 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	289,647,085 株	2020年3月期2Q	289,648,981 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(表示方法の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により経済活動の停滞や消費マインドの低下、企業収益や雇用情勢が悪化する等、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金価格は、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済低迷に潜むインフレリスクや、世界各国での大規模な金融緩和策等を背景に、安全資産として金需要が増加したことから大幅に上昇いたしました。業績につきましては、金価格の上昇が寄与したことから概ね堅調に推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税や低金利の継続等、住宅購買環境は良好であるものの、地価の高止まりによる仕入価格の高騰や都心オフィス市場の空室率が上昇に転じ賃料水準の下落が懸念される等、先行き不透明な状況で推移し、業績は低調に推移いたしました。機械市況においては、米中貿易摩擦や世界経済の減速により企業の投資マインドは著しく縮小し、内外需ともに受注が減少したことから業績は低調に推移いたしました。コンテンツ事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により一部商品の発売延期や物販イベントが延期・中止となる等、販売機会の損失が生じたものの『鬼滅の刃』や『ヒプノシスマイク』をはじめとする関連グッズの販売が好調であったことから、業績は好調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は19,373,503千円(前年同四半期13,355,751千円45.1%増)、営業損益は73,154千円の利益(前年同四半期615,726千円の損失)、経常損益は48,912千円の利益(前年同四半期654,652千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損益は41,565千円の利益(前年同四半期229,670千円の損失)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は17,852,186千円(前年同四半期12,334,818千円)、営業損益は155,790千円の利益(前年同四半期75,921千円の利益)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は133,263千円(前年同四半期794,704千円)、営業損益は21,506千円の損失(前年同四半期349,498千円の利益)となりました。

機械事業におきましては、売上高は321,130千円(前年同四半期509,393千円)、営業損益は30,818千円の損失(前年同四半期8,564千円の損失)となりました。

投資事業におきましては、営業損益は13,027千円の損失(前年同四半期924,246千円の損失)となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は1,061,058千円(前年同四半期594,467千円)、営業損益は179,066千円の利益(前年同四半期88,825千円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より357,567千円増加し、8,114,191千円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末より379,256千円増加し、5,788,112千円となりました。

増加の主なものは、現金及び預金の増加(2,938,318千円から3,338,393千円へ400,075千円の増加)、商品及び製品の増加(1,268,276千円から1,403,986千円へ135,710千円の増加)であります。

減少の主なものは、売掛金の減少(415,770千円から265,392千円へ150,377千円の減少)、販売用不動産の減少(100,113千円の減少)であります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末より21,688千円減少し、2,326,078千円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末より255,422千円増加し、1,271,279千円となりました。

固定負債の残高は、前連結会計年度末より60,680千円増加し、398,984千円となりました。

純資産の残高は、前連結会計年度末より41,464千円増加し、6,443,927千円となりました。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末より400,075千円増加し、3,338,393千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は299,659千円(前年同四半期は20,171千円の使用)となりました。これは主にたな卸資産の増加額124,813千円等による資金の減少があったものの、売上債権の減少額150,377千円及び預り金の増加額207,772千円等の資金の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は14,619千円(前年同四半期は18,201千円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出14,571千円等の資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は115,035千円(前年同四半期は271,772千円の獲得)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出34,933千円等による資金の減少があったものの、短期借入れによる収入50,000千円及び長期借入れによる収入100,000千円等の資金の増加があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,938,318	3,338,393
売掛金	415,770	265,392
商品及び製品	1,268,276	1,403,986
仕掛品	329,687	407,270
原材料及び貯蔵品	18,360	29,993
販売用不動産	100,113	—
預け金	328	327
その他	378,069	382,815
貸倒引当金	△40,068	△40,068
流動資産合計	5,408,855	5,788,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,169,251	1,169,251
減価償却累計額	△615,352	△638,977
建物及び構築物 (純額)	553,899	530,274
機械装置及び運搬具	504,512	507,407
減価償却累計額	△451,224	△457,238
機械装置及び運搬具 (純額)	53,288	50,169
土地	1,472,391	1,472,391
その他	119,199	124,325
減価償却累計額	△101,583	△104,974
その他 (純額)	17,616	19,351
建設仮勘定	5,000	11,550
有形固定資産合計	2,102,195	2,083,736
無形固定資産		
その他	12,403	11,424
無形固定資産合計	12,403	11,424
投資その他の資産		
投資有価証券	100,071	100,071
出資金	10,105	10,105
長期未収入金	400,915	400,915
敷金及び保証金	115,243	114,932
その他	7,747	5,808
貸倒引当金	△400,915	△400,915
投資その他の資産合計	233,167	230,917
固定資産合計	2,347,767	2,326,078
資産合計	7,756,623	8,114,191

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	140,440	208,502
短期借入金	550,000	600,000
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	55,666	59,386
未払金	23,028	15,531
未払法人税等	65,186	30,669
ポイント引当金	2,600	2,700
その他	128,934	304,489
流動負債合計	1,015,856	1,271,279
固定負債		
長期借入金	105,211	166,558
金属鉱業等鉱害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	12,708	12,708
繰延税金負債	8,976	8,309
資産除去債務	207,455	207,455
固定負債合計	338,303	398,984
負債合計	1,354,160	1,670,263
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,248,926	6,248,926
利益剰余金	175,086	216,652
自己株式	△31,279	△31,310
株主資本合計	6,392,734	6,434,268
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△71	△140
その他の包括利益累計額合計	△71	△140
非支配株主持分	9,800	9,800
純資産合計	6,402,462	6,443,927
負債純資産合計	7,756,623	8,114,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	13,355,751	19,373,503
売上原価	13,245,909	18,610,025
売上総利益	109,842	763,477
販売費及び一般管理費	725,568	690,322
営業利益又は営業損失(△)	△615,726	73,154
営業外収益		
受取利息及び配当金	802	12
国庫補助金収入	9,455	8,392
保険金収入	—	720
その他	5,591	3,931
営業外収益合計	15,849	13,055
営業外費用		
支払利息	5,107	2,513
休山管理費	37,940	31,410
その他	11,728	3,374
営業外費用合計	54,776	37,298
経常利益又は経常損失(△)	△654,652	48,912
特別利益		
固定資産売却益	63	—
補助金収入	—	7,655
特別利益合計	63	7,655
特別損失		
操業休止関連費用	—	5,134
特別損失合計	—	5,134
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△654,588	51,432
法人税、住民税及び事業税	22,008	10,533
法人税等調整額	△878	△666
法人税等合計	21,130	9,867
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△675,719	41,565
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△446,049	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△229,670	41,565

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△675,719	41,565
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△95	△69
その他の包括利益合計	△95	△69
四半期包括利益	△675,815	41,495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△229,766	41,495
非支配株主に係る四半期包括利益	△446,049	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失 (△)	△654,588	51,432
減価償却費	43,212	34,009
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11,000	—
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	600	100
受取利息及び受取配当金	△802	△12
支払利息	5,107	2,513
補助金収入	△9,455	△8,392
保険金収入	—	△720
有形固定資産売却損益 (△は益)	△63	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△12,148	150,377
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△119,515	△124,813
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11,611	68,061
未払金の増減額 (△は減少)	△3,974	△7,498
デリバティブ債権の増減額 (△は増加)	△8,600	—
デリバティブ債務の増減額 (△は減少)	2,304	—
預け金の増減額 (△は増加)	791,331	0
預り金の増減額 (△は減少)	1,553	207,772
その他	△53,809	△46,439
小計	△19,461	326,393
利息及び配当金の受取額	651	9
利息の支払額	△3,068	△2,512
補助金の受取額	9,455	8,392
保険金の受取額	—	720
法人税等の支払額	△7,749	△33,343
営業活動によるキャッシュ・フロー	△20,171	299,659
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,594	△14,571
有形固定資産の売却による収入	83	—
無形固定資産の取得による支出	△3,628	—
敷金及び保証金の差入による支出	△466	△56
敷金及び保証金の回収による収入	296	—
その他	108	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,201	△14,619
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	350,000	50,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△78,210	△34,933
自己株式の取得による支出	△17	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	271,772	115,035
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	233,399	400,075
現金及び現金同等物の期首残高	1,593,714	2,938,318
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,827,114	3,338,393

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

・四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第2四半期連結累計期間において「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「預り金の増減額」は、金額的重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間より区分掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△52,256千円は、「預り金の増減額」1,553千円、「その他」△53,809千円として組み替えております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、経済活動や生活行動等に広範な影響を与える事象であり、当社グループは、2021年3月期においてもその影響が続くものと想定しております。当該仮定に基づき、固定資産の減損会計等を見積りを行った結果、当第2四半期連結会計期間の財政状態及び経営成績に重要な影響はありません。なお、この仮定は不確実性が高いため、収束が遅延し、影響が長期化した場合には、翌四半期連結会計期間以降の財政状態、経営成績の状況に影響が及ぶ可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ 事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	12,334,818	787,339	509,393	△903,179	594,467	32,911	13,355,751
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	7,365	—	—	—	—	7,365
計	12,334,818	794,704	509,393	△903,179	594,467	32,911	13,363,116
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	75,921	349,498	△8,564	△924,246	88,825	△4,644	△423,210

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	13,355,751
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	△7,365	—
計	△7,365	13,355,751
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△192,515	△615,726

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入及びインターネットカフェ事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△192,515千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△192,515千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ 事業		
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	17,852,186	125,898	319,890	—	1,061,058	14,469	19,373,503
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	7,365	1,240	—	—	—	8,605
計	17,852,186	133,263	321,130	—	1,061,058	14,469	19,382,108
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	155,790	△21,506	△30,818	△13,027	179,066	△8,992	260,511

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	19,373,503
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	△8,605	—
計	△8,605	19,373,503
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△187,356	73,154

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入及びインターネットカフェ事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△187,356千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△187,356千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。